

Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話機でのコールパークによるコールの保留

目的

Cisco IP Phoneのコールパーク機能を使用すると、コールを保留にして自分でコールを取得したり、システム内の別の電話機を使用して他のユーザがコールを取得したりできます。この機能を使用する前に、ネットワーク管理者は、コールをパークできる内線番号を最初に設定する必要があります。

この記事では、Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームファームウェアのコールパーク機能を使用してコールを保留にする方法について説明します。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- IP 電話 8800 シリーズ | 11.0.1 (最新の[ダウンロード](#))

この記事で参照されている8800シリーズの電話機は、特定のコールコントローラを使用するエンタープライズ電話機ではありません。2種類の電話機を比較する場合は、「[比較とコントラスト](#)」を参照してください。[Cisco IP MPP Phone](#)および[Cisco Unified IP Phone](#)。

マルチプラットフォームファームウェアを搭載した電話機

MPP電話機には、インターネットテレフォニーサービスプロバイダー(ITSP)またはIP構内交換機(PBX)コール制御サーバからのサービスが必要です。WebEx Calling、Ring Central、およびVerizonはITSPの例です。Cisco MPP電話機で動作するIP PBXサービスの例には、Asterisk、Centile、およびMetaswitchプラットフォームがあります。

これらのITSPおよびIP PBXコールコントローラは、コールパークやボイスメールなどのサービスを提供するために、電話とコールコントローラが相互に通信する別のシステムです。MPP電話機は特定のコールコントローラを使用しないため、アクセスと手順は異なります。

各コールコントローラは異なる手順を実行できるため、動作の仕組みを正確に説明することはできません。特定のボイスメールコマンドに関する情報とヘルプについては、選択したプロバイダーのヘルプサイトを参照してください。管理者がいる場合は、詳細と可能なトレーニングについて管理者に問い合わせることができます。

AsteriskおよびFreePBX使用時に使用可能なコマンド

一般的なデフォルトの1つは*70で、コールパークを行います。

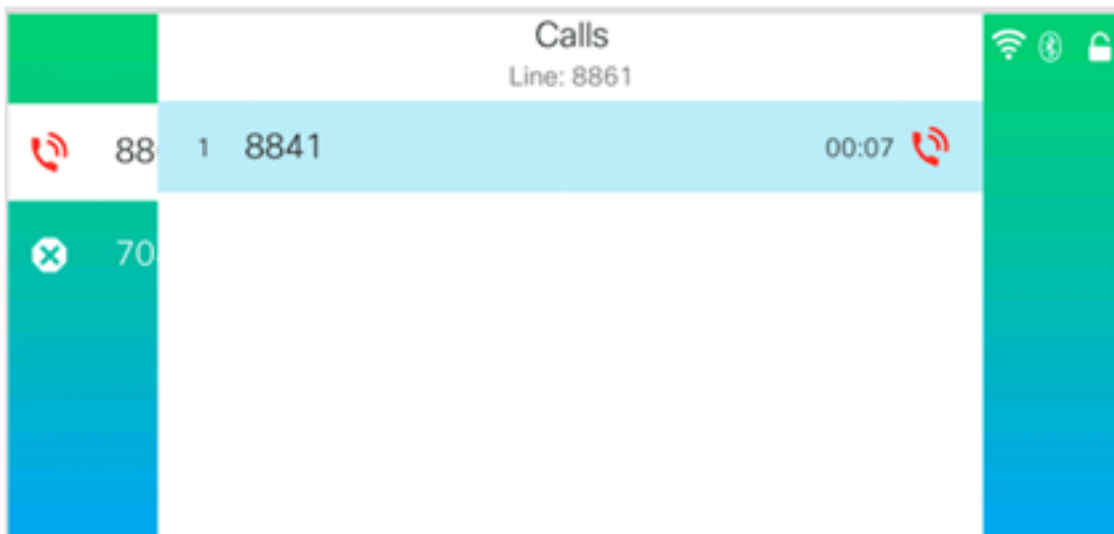
一般的なデフォルトの1つは、コールを取得するための*71です。

このビデオは、FreePBXを使用する場合に役立ちます。[FreePBXによるコールパーキング](#)。

もう一度、設定に関する詳細については、電話システムを設定した担当者に問い合わせることが最善です。

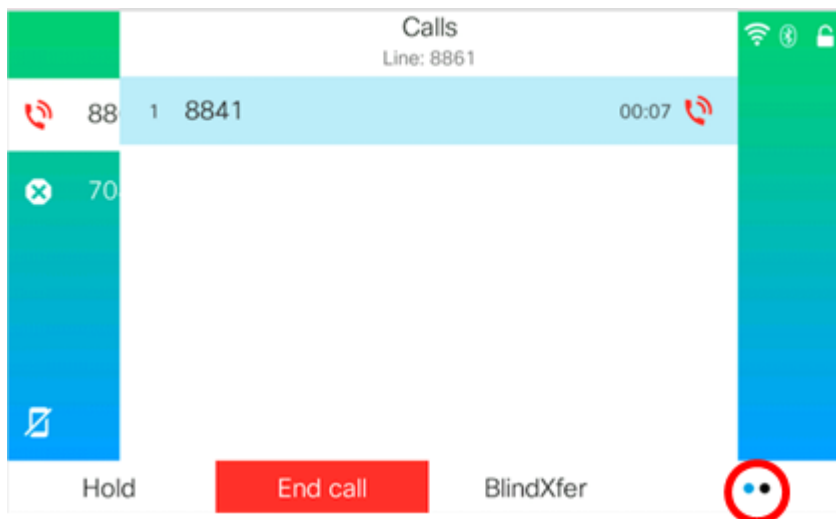
その他の可能なオプション

ステップ1: IP Phoneでコールに応答します。

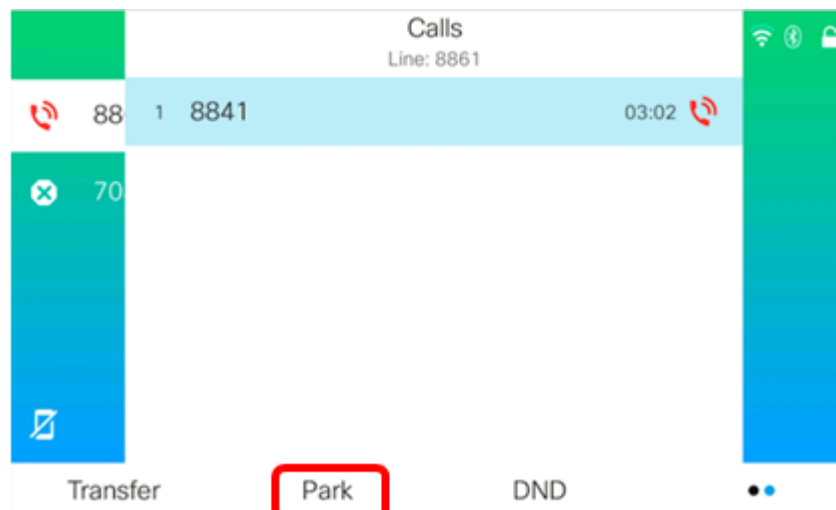


注：この例では、8841からのコールが受信されます。

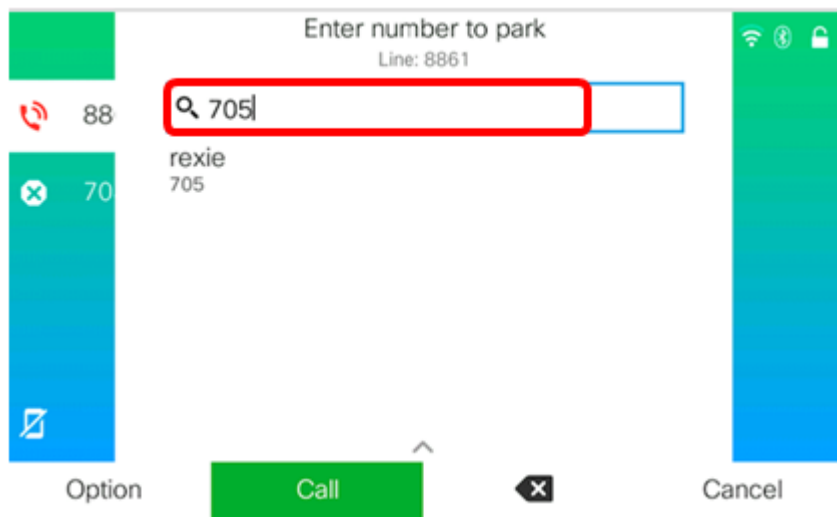
ステップ2:[次ページ]ソフトキーを押して、ソフトキーの他のオプションを表示します。



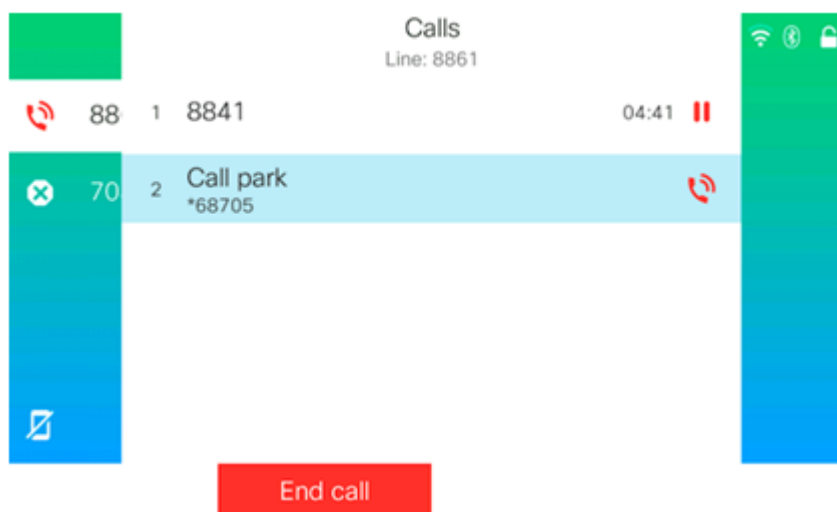
ステップ3:[パーク]ソフトキーを押します。



ステップ4：コールパーキング用に設定された内線番号の1つを入力し、電話機のシャープ・ボタンを押します。



注：この例では、705 が使用されます。



ステップ5: (オプション) コールを他のユーザが取得する場合は、パークされたコールの内線番号をユーザに通知します。